

例会報告：2014年7月22日（晴れ）第1852回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2014年7月22日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶



齋藤 永 会長

皆さんこんにちは、各地で梅雨明け宣言している中、関東地方も今日にも梅雨明け宣言しそうな暑さです。ご健康には十分ご注意ください。この夏を乗り切ってくださいと思います。

いつもは、禅のお話をしていますが、先日難しすぎるとのお言葉を頂きましたので、テーマを少し変えて、お話したいと思います。私もそうですが、目の前につらい事、面倒な事が待ち構えているとき、ついついそれらを後回しにしてしまうことはありませんか？つらい事から逃げたいと思うのは当たり前の感情。でも現実逃避をしていては、問題はいつまでたっても解決しません。皆さんもご存知の女性で、熱病で視覚と聴覚、しゃべる能力を失っても困難を乗り越えて大学へ進学して、身体障害者の教育や福祉のために尽力を尽くした、ヘレン・ケラーの名言に「決してうつむいてはいけない。頭はいつも高く上げていなさい。しっかりとまっすぐ世界を見るのです。」という言葉があります。

問題にぶつかったとき、後回しにしてしまうのはなぜでしょう。時間が足りない？1人では手に負えない？ただ面倒なだけ？もしあなた1人では解決が難しいというのが理由なら、誰かの協力があれば打開できるかも知れません。ヘレン・ケラーを指導した家庭教師、アン・サリバンのように周りに信頼できる仲間がきっといるはずですよ。

今後、工作上、私生活上、ロータリーライフ上なんらかの問題が発生したら、1人ではなやまずに仲間に相談してみることも解決への一歩かもしれません。そして、問題と向き合い、後回しにしたい理由を探りましょう。理由がわかれば、解決方法も見えてくるはずですよ。私たちは1人ではありません、ここにこんなにたくさんの仲間がいるんですから。

もう一度ヘレン・ケラーの名言をいいます。「決してうつむいてはいけない。頭はいつも高く上げていなさい。しっかりとまっすぐ世界を見るのです。」今日もよろしくお願いいたします。

❖ 幹事報告



大川 久弥 幹事

- 1)第2回理事会の開催日ですが、当日の納涼例会の開始時間や諸事情を考慮した結果、変更させていただくことになりました。8月6日水曜日18時半より、小林会員の事務所をお借りして行う事となりましたので、理事の方はお間違いのないようをお願い致します。
- 2) 青少年交換学生として、当クラブよりロシアに派遣される諏訪間亮君の受け入れ先が決定致しました。マガダンロータリークラブで、オホーツク海の奥の方に位置しております。出発日等、詳細はまた分かり次第ご報告させていただきます。

❖ 委員会報告

青少年交換学生・柳井カウンセラー

明日アビーさんの送別会を行いますので、出席の方は時間を間違えないようお願いいたします。急遽参加可能な方も歓迎しております。

❖ 出席報告

渡部 重海 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
7月22日	48(45)	36	1	82.22%
7月15日	48(45)	37	2	86.67%
7月8日	48(44)	32	4	81.82%

- 【欠席者】 9名
中村 維孝、小嶋 章司、木村 頼弘、上田 博和、
菊地 義雄、大川 誠、一寸木 信雄、小川 和夫、
石内 正彦
- 【今回MU】 1名
小嶋 章司 (7/18 増強)
- 【前回MU】 増加なし
- 【前々回MU】 増加なし

❖ 卓話

「今年度国際奉仕委員会と大邱松林ロータリークラブについて」

国際奉仕委員会・本多 純二 委員長

先月末に姉妹提携している韓国の大邱松林ロータリークラブ、創立35周年の記念式典に出席して参りました。その時の報告をさせていただきます。まずスタートから式典の会場までの話をして、その後は小川さんが撮影した画像を見ながら説明したいと思います。

6/27（金）に式典が開催されるということで、金曜から二泊三日で韓国に行ってきました。出席者は前年度会長の露木さん、今年度の齋藤会長、太田副会長、次年度会長の須賀さん、国際奉仕の中村さんと私、杉崎さんと小川さんご夫妻、小嶋さんご夫妻の総勢11名です。それに通訳としてイ・ウンさんに同行してもらいました。

27日早朝、小田原駅に集合しました。中村さんと須賀さんはソウルで仕事があり先に韓国へ渡っていたので、9名で集まりました。羽田に移動して9：15発、金浦空港へ11：30着で約2時間15分のフライトでした。ゲートを出たら中村さんがウンさんと待っていてくれて、マイクロバスでソウルへ向かい須賀さんと合流します。その後、食事しながら韓国とのこれからなどを話し合い、3時過ぎに出発しました。ソウルから大邱までは今2時間かかりません。本当に便利になっています。

大邱には親睦委員会の5名程が待っていてくれました。大邱松林ロータリークラブでは国際奉仕委員会が無く、接待はみな親睦委員会が担当しているようです。車でホテルに送ってくれ、着替えてすぐに式典に参加しました。式典が始まる前に向こうの会長さんや親睦委員長さんと一緒に今後の事を話し合いました。その席で「1992年から友好クラブとして付き合い、姉妹関係を結んで23年になります。その間、色々な事業をやってきて当初の目的は達成したと思います」という話ができました。それを皮切りに「今は考え方も変わってきているので、発展的解消してもいいのではないかと」と告げます。韓国側でも姉妹提携した時の会員さんはもう僅かしか残っておらず、35周年の接待も反対が多かったということで、同じような状態でした。双方の考えが一致し、再来年、私たちの40周年記念を最後に解消するよう理事会に提唱してくれるそうです。20周年記念に姉妹提携をし、40周年で解消するのは切りが良いと思います。そういう方向にこれからは向かっていくでしょう。

今年度の事業は、モンゴルの小学校に浄水器を2台寄贈する予定です。その資金を持っていくのと、現地見学、ウランバートルロータリークラブとの交流をどうするか、などについて9月に中村さんと菊地さんに下準備で行ってもらうことになっています。ご承知おきください。

